

の線維芽細胞を用いた。

(2) *in vitro* mtDNA 翻訳活性の解析

患者細胞およびコントロール細胞にタンパク質合成阻害薬であるエメチンを添加して細胞質での翻訳を阻害した。³⁵S メチオニン、システインで標識した細胞からタンパク質を抽出し、電気泳動を行うことで mtDNA の翻訳産物を検出した。

(3) 呼吸鎖複合体タンパク質の検出

患者細胞およびコントロール細胞からミトコンドリア画分を調製し、可溶化した後、Blue native ゲル電気泳動(BN-PAGE)とイムノプロットを行い、呼吸鎖複合体 I-IV および呼吸鎖複合体 I、III、IV の会合体であるスーパーコンプレックスを検出した。

(4) 呼吸鎖複合体酵素活性測定

患者細胞およびコントロール細胞からミトコンドリア分画を調製し、呼吸鎖複合体 I-IV およびマーカー酵素であるクエン酸合成酵素(CS)の酵素活性をそれぞれ測定した。データは、検体ごとのミトコンドリア純度の違い、および酵素の失活による影響を考慮し、CS により補正した相対活性を採用した。

(倫理面への配慮)

患者に対しインフォームドコンセントを行った上で皮膚生検を行い皮膚線維芽細胞を解析に用いた。本研究は当該研究施設の倫理委員会の承認を得ている。

C. 研究結果

(1) *in vitro* mtDNA 翻訳活性の解析

mtDNA 翻訳活性解析の結果、mtDNA にコードされている呼吸鎖複合体サブユニットタンパク質のバンド強度が顕著に低下していた(図 1)。COX I, COX II のシグナル強度を指標にして mtDNA 翻訳活性を算出した結果、患者細胞の

mtDNA 翻訳活性はコントロール細胞の約 16%に低下していた。

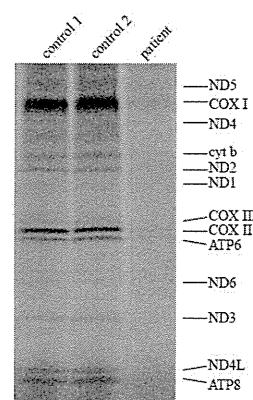


図 1. ³⁵S メチオニン、システインラベル電気泳動による mtDNA 翻訳活性の解析

(2) 呼吸鎖複合体タンパク質の検出

呼吸鎖複合体のタンパク量解析の結果、患者細胞では呼吸鎖複合体 I、IV のタンパク量がそれぞれコントロール細胞の約 33%、約 13%に低下していた(図 2. A)。同様に、患者細胞では呼吸鎖複合体 I、III、IV の会合体であるスーパーコンプレックス量もコントロール細胞の約 30%に低下していた(図 2. B)。

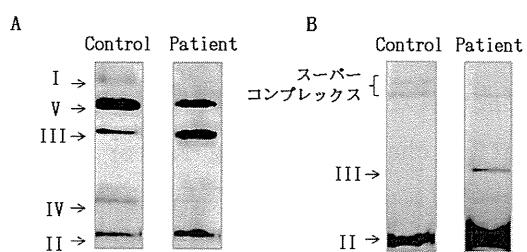


図 2. 呼吸鎖複合体タンパク質の検出

A. 各複合体を検出

B. スーパーコンプレックスを検出

(3) 呼吸鎖複合体の酵素活性測定

呼吸鎖複合体 I-IV およびマーカー酵素であるクエン酸合成酵素(CS)の酵素活性測定を行い、CS 活性値により補正した各呼吸鎖複合体の

相対活性を算出した結果、患者細胞では呼吸鎖複合体 I、IV の活性がそれぞれコントロール細胞の約 29%、約 13% に低下していた(図 3)。

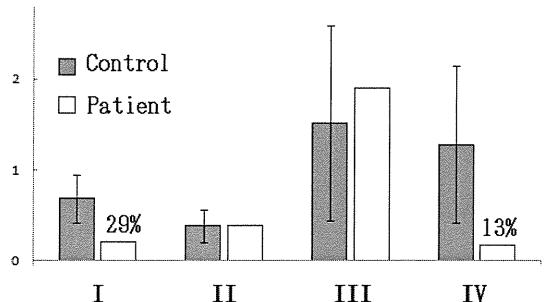


図 3. 呼吸鎖複合体活性測定

CS 活性値により補正した各呼吸鎖複合体の相対活性。% 表示はコントロールの値に対する割合。

D. 考察

本研究結果から、患者細胞では呼吸鎖複合体 I、IV のタンパク量およびそれらの会合体であるスーパーコンプレックス量が減少し、酵素活性が低下していた。また、mtDNA にコードされている 13 の呼吸鎖複合体サブユニットの合成が低下していることも明らかであった。本症例においては、ナンセンス変異が存在し、そのために *C12orf65* の不良タンパク、もしくはタンパクが形成されないことで、本タンパク質が有する peptide chain releasing factor としての機能を喪失し、mtDNA の翻訳活性を顕著に低下させたと考えられる。

C12orf65 遺伝子異常における他の症例として、前述のようにミトコンドリア脳筋症患者の独立した 2 家系が報告されている (Antonica H, et al. *Am J Hum Genet* 2010)。この報告では、*C12orf65* 遺伝子の exon 2 に存在する異なった一塩基欠失から生じる同一の早期終止コドンの影響により mtDNA の翻訳異常が生じている。本症例と既報告の症例は、いずれも早期終止コ

ドン (本症例 : p. R132X、既報告の症例 : p. L84X) により発症しているが、表現型の違いが何に由来するかは明らかではない。

しかし、*C12orf65* 遺伝子においてタンパクをコードしている Splicing Variant は現在 6 種類 (*C12orf65*-001、-003、-005、-006、-007、-201) 確認されており、各 Variant の組織特異性、両症例での早期終止コドンの位置の違い、Nonsense-mediated mRNA decay との関連性を分子遺伝学的に検証することが、本症例と既報告の症例との表現型の違いを理解する上での一助に繋がる可能性がある。

ARHSP の病態発症にミトコンドリアが関与する他の症例として *SPG7* 遺伝子の変異が知られている。遺伝子産物である Paraplegin は、ミトコンドリア内膜に局在する ATP 依存性のプロテアーゼのコンポーネントであり、ミスフォールドしたタンパク質を分解し、リボソームの集合を調整する役割を担っている。この症例では、Paraplegin タンパクの異常によりミトコンドリアの機能異常を認め、HSP の症状を呈すると推定されている。

E. 結論

C12orf65 遺伝子の新規変異は本患者における ARHSP の原因であると判断した。

また、HSP の中にはミトコンドリア機能障害を基盤とする病態が存在しており、現在原因不明の HSP の中に新たなミトコンドリア機能障害由来の病態が隠れている可能性がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) 瀧山嘉久, 石浦浩之, 嶋崎晴雄, 辻省次,
西澤正豊 : 遺伝性痙性対麻痺の疫学
-JASPAC-. 神經内科, 2011;74:141-145
- 2) 瀧山嘉久 : わが国における遺伝性痙性対麻
痺の現状. 臨床神經 (印刷中)

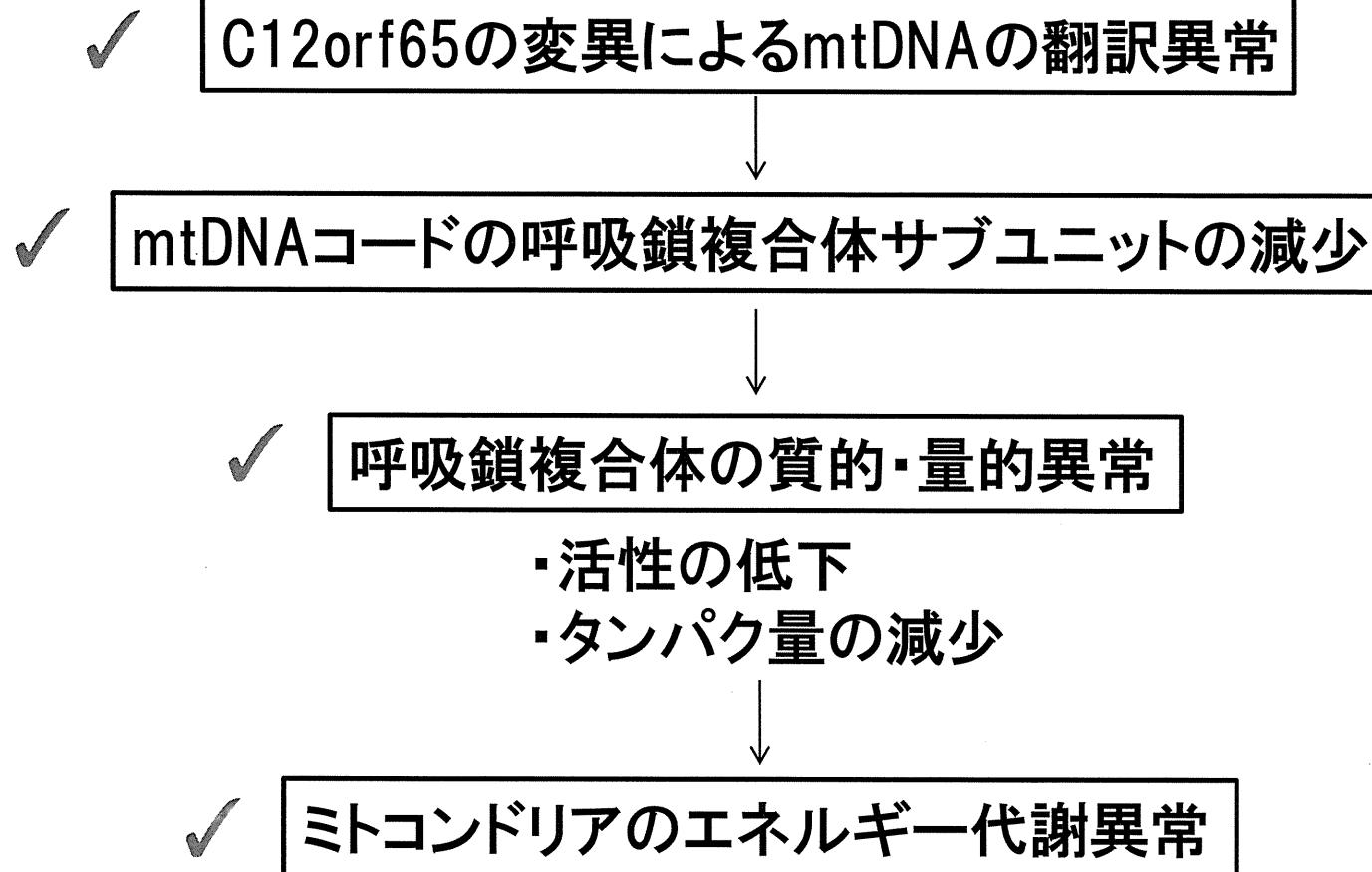
2. 学会発表

- 1) 瀧山嘉久 : わが国における遺伝性痙性対麻
痺の現状. 第 52 回日本神經学会学術大会シ
ンポジウム 29 脊髄小脳変性症 update, 2011
年 5 月 20 日, 名古屋
- 2) 嶋崎晴雄, 石浦浩之, 福田陽子, 本多純子,
太田京子, 直井為任, 滑川道人, 迫江公己,
高橋祐二, 後藤順, 辻省次, 瀧山嘉久,
中野今治 : 視神經萎縮、末梢神經障害を伴
う遺伝性痙性対麻痺症例の臨床像と原因遺
伝子検索. 第 52 回日本神經学会学術大会,
2011 年 5 月 20 日, 名古屋

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定含む）

なし

C12orf65 新規変異の機能解析のまとめ



結論

新規変異は、病因と考えられる

IV. 小腦研究会

第二回小脳研究会学術集会について

小脳研究会は、小脳ならびに小脳障害の分子メカニズムと病態生理を解明し、小脳疾患の真に有効な治療法を開発することを目的として、臨床医や基礎研究者を中心とし、産業界や行政をも含めて緊密に交流し、連携を進めるために2011年1月14日に設立された。その第一回目の学術集会の時から、厚生労働省運動失調症調査研究班会議と緊密な連携の元に開催されている。

2011年度の第2回目の学術集会も運動失調症調査研究班会議後の2012年1月13日、14:30～17:00に開催され、発起人を代表して東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学の水澤英洋教授から「小脳研究会の目的と歩み」についての説明があり、引き続き講演1として北海道大学医学研究科神経内科学の佐々木秀直教授が「様々な小脳疾患における症状と症候」について、ビデオ等を用いてわかりやすく解説、講演2として旭川大学医学部・医学部・脳機能医工学研究センターの高草木薫教授から「失調性歩行の病態生理と治療への示唆」と題して、失調性歩行の病態生理をご講演いただいた。多数の参加者を得て大変有意義な学術集会であった。

東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科学）分野

水澤英洋

2011年度 小脳研究会

日時：2012年1月13日（金）、14:30～17:00

会場：都市センターホテル 7階 706号室

東京都千代田区平河町2-4-1

学術集会・総会プログラム

14:30～14:35 小脳研究会の目的と歩み

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学 水澤英洋

14:35～15:35 講演1：様々な小脳疾患における症状と症候

北海道大学大学院医学研究科神経内科学 佐々木秀直

15:35～16:35 講演2：失調性歩行の病態生理と治療への示唆

旭川大学医学部医学部脳機能医工学研究センター 高草木 薫

16:35～17:00 総合討論・総会

発起人：佐々木秀直、祖父江元、辻 省次、西澤正豊、水澤英洋

狩野方伸、川人光男、北澤 茂、杉原 泉、三品昌美

顧 問：伊藤正男、金澤一郎、篠田義一

連絡先：〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学大学院脳神経病態学（神経内科学）分野

電話：03-5803-5233

FAX：03-5803-0134

* 本学術集会は、小脳研究会と運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究班との共催です。

V. 研究成果の刊行に関する一覧表

佐々木 秀直

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Sasaki H, Emi M, Iijima H, Ito N, Sato H, Yabe I, Kato T, Utsumi J, Matsubara K	Copy number loss of (Src homology 2 domain containing)-transforming protein 2 (SHC2) gene: Discordant loss in monozygotic twins and frequent loss in patients with multiple system atrophy	Mol Brain	4	24	2011
佐々木秀直, 江見 充	多系統萎縮症の新しい発症メカニズム	医学のあゆみ	239	1216-1217	2011

宇川 義一

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Tsutsumi R, Hanajima R, Hamada M, Shirota Y, Matsumoto H, Terao Y, Ohminami S, Yamagawa Y, Shimada H, Tsuji S, Ugawa Y	Reduced interhemispheric inhibition in mild cognitive impairment	Exp Brain Res		Jan 11 [Epub ahead of print]	2012
Groiss SJ, Mochizuki H, Furubayashi T, Kobayashi S, Nakatani-Enomoto S, Nakamura K, Ugawa Y	Quadri-pulse stimulation induces stimulation frequency dependent cortical hemoglobin concentration changes within the ipsilateral motor cortical network	Brain Stimul		Feb 23 [Epub ahead of print]	2012
Hirose M, Mochizuki H, Tanji Y, Nakamura K, Nakatani-Enomoto S, Enomoto H, Nishizawa M, Ugawa Y	On-line effects of quadripulse transcranial magnetic stimulation (QPS) on the contralateral hemisphere studied with somatosensory evoked potentials and near infrared spectroscopy	Exp Brain Res	214(4)	577-586	2011
Hanajima R, Terao Y, Shirota Y, Ohminami S, Nakatani-Enomoto S, Okabe S, Matsumoto H, Tsutsumi R, Ugawa Y	Short-interval intracortical inhibition in Parkinson's disease using anterior-posterior directed currents	Exp Brain Res	214(2)	317-321	2011
Kikuchi S, Mochizuki H, Moriya A, Nakatani-Enomoto S, Nakamura K, Hanajima R, Ugawa Y	Ataxic hemiparesis: neurophysiological analysis by cerebellar transcranial magnetic stimulation	Cerebellum		Jul 29 [Epub ahead of print]	2011
Shirota Y, Hanajima R, Hamada M, Terao Y, Matsumoto H, Tsutsumi R, Ohminami S, Furubayashi T, Ugawa Y	Inter-individual variation in the efficient stimulation site for magnetic brainstem stimulation	Clin Neurophysiol	122(10)	2044-2048	2011
Matsumoto H, Terao Y, Furubayashi T, Yugeta A, Fukuda H, Emoto M, Hanajima R, Ugawa Y	Small saccades restrict visual scanning area in Parkinson's disease	Mov Disord	26(9)	1619-1626	2011

岡澤 均

書籍

著者名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ (最初・最後)
Enokido Y, Okazawa H	DNA Repair in the Nervous System	Kimura S. and Shimizu S.	A New Research for Neurological	Nova Science	USA	2011	

			Disorders. in DNA Repair			
--	--	--	--------------------------	--	--	--

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Nakamura Y, Tagawa K, Oka T, Sasabe T, Ito H, Shiwaku H, La Spada AR. and Okazawa H	Ataxin-7 associates with microtubules and stabilizes the cytoskeletal network	Hum Mol Genet	21(5)	1099–1110	2012
Oka T, Tagawa K, Ito H and Okazawa H	Dynamic Changes of the Phosphoproteome in Postmortem Mouse Brains	PLoS One	6(6)	e21405	2011
Tamura T, Sone M, Iwatsubo T, Tagawa K, Wanker EE. and Okazawa H	Ku70 alleviates Neurodegeneration in Drosophila models of Huntington's disease	PLoS One	6(11)	e27408	2011
田川一彦, 岡澤 均	ポリグルタミン病、認知症学（上）—その解明と治療の最新知見—	日本臨牀 増刊号	1008	124–128	2011
岡澤 均	はじめに、精神発達遅滞・自閉症の分子医学（岡澤先生企画）	医学のあゆみ	239	605–606	2011
塩飽裕紀, 岡澤 均	PQBP1遺伝子異常による発達障害の分子医学	医学のあゆみ	239	653–659	2011
榎戸 靖, 岡澤 均	ポリグルタミン病におけるDNA修復異常	Medical Science Digest	38	21–24	2011
岡澤 均	DNA損傷修復からみた神経変性機序	臨床神経学	51	in press	2011
岡澤 均	ポリグルタミン病における凝集毒性概念の変遷と治療	日本認知症学会 誌		in press	2011
岡澤 均	ハンチントン病の分子病態解明	臨床神経学		in press	2011

小野寺 理

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Yamazaki H, Nozaki H, Onodera O, Michikawa T, Nishizawa M, Mikoshiba K	Functional characterization of the P1059L mutation in the inositol 1,4,5-trisphosphate receptor type 1 identified in a Japanese SCA15 family	Biochem Biophys Res Commun	410(4)	754–758	2011
Yokoseki A, Ishihara T, Koyama A, Shiga A, Yamada M, Suzuki C, Sekijima Y, Maruta K, Tsuchiya M, Date H, Sato T, Tada M, Ikeuchi T, Tsuji S, Nishizawa M, Onodera O	Genotype–phenotype correlations in early onset ataxia with ocular motor apraxia and hypoalbuminaemia	Brain	134(Pt5)	1387–1399	2011

祖父江 元

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Miyai I, Ito M, Hattori N, Mihara M, Hatakenaka M, Yagura H, Sobue G, Nishizawa M	Cerebellar Ataxia Rehabilitation Trial in Degenerative Cerebellar Diseases	Neurorehabil Neural Repair		Dec 2 [Epub ahead of print]	2011
Hashizume A, Katsuno M, Banno H, Suzuki K, Suga N, Tanaka F, Sobue G	Difference in chronological changes of outcome measures between untreated and placebo-treated patients of spinal and	J Neurol		Sep 28 [Epub ahead of print]	2011

	bulbar muscular atrophy				
Kato S, Watanabe H, Senda J, Hirayama M, Ito M, Atsuta N, Kaga T, Katsuno M, Naganawa S, <u>Sobue G</u>	Widespread cortical and subcortical brain atrophy in Parkinson's disease with excessive daytime sleepiness	J Neurol	259(2)	318-326	2012
Uchida K, Hirayama M, Yamashita F, Hori N, Nakamura T, <u>Sobue G</u>	Tremor is attenuated during walking in essential tremor with resting tremor but not parkinsonian tremor	J Clin Neurosci	18(9)	1224-1228	2011
Tsujimoto M, Senda J, Ishihara T, Niimi Y, Kawai Y, Atsuta N, Watanabe H, Tanaka F, Naganawa S, <u>Sobue G</u>	Behavioral changes in early ALS correlate with voxel-based morphometry and diffusion tensor imaging	J Neurol Sci	307(1-2)	34-40	2011
Nakamura T, Hirayama M, Hara T, Hama T, Watanabe H, <u>Sobue G</u>	Does cardiovascular autonomic dysfunction contribute to fatigue in parkinson's disease?	Mov Disord	26(10)	1869-1874	2011
Hirayama M, Nakamura T, Watanabe H, Uchida K, Hama T, Hara T, Niimi Y, Ito M, Ohno K, <u>Sobue G</u>	Urinary 8-hydroxydeoxyguanosine correlate with hallucinations rather than motor symptoms in Parkinson's disease	Parkinsonism Relat Disord	17(1)	46-49	2011
熱田直樹, 渡辺宏久, 伊藤瑞規, 中村亮一, 千田 譲, 加藤重典, 祖父江 元	日本版ALSFRS-Rを用いた電話調査によるALS患者の評価—広域的前向き縦断調査への応用	BRAIN and NERVE	63(5)	491-496	2011

高嶋 博

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Sakiyama Y, Okamoto Y, Higuchi I, Inamori Y, Sangatsuda Y, Michizono K, Watanabe O, Hatakeyama H, Goto Y, Arimura K, Takashima H	A new phenotype of mitochondrial disease characterized by familial late-onset predominant axial myopathy and encephalopathy	Acta Neuropathol	121(6)	775-783	2011
Okamoto Y, Higuchi I, Sakiyama Y, Tokunaga S, Watanabe O, Arimura K, Nakagawa M, Takashima H	A new mitochondria-related disease showing myopathy with episodic hyper-CKemia	Ann Neurol	70(3)	486-492	2011
Nishikawa N, Nagai M, Tsujii T, Tanabe N, Takashima H, Nomoto M	Three SCA2 siblings with Ataxia, Parkinsonism, and Motor Neuronopathy	Intern Med	50(13)	1429-1432	2011

瀧山 嘉久

書籍

著者名	論文題名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ (最初・最後)
Shimazaki H, <u>Takiyama Y</u>	Autosomal recessive spastic ataxia of Charlevoix-Saguenay (ARSACS): clinical, radiological and epidemiological aspects	Eldson Storey	Spinocerebellar ataxia	InTech-Open Acess Publisher	Croatia	in press	

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初-最後)	出版年
Shimazaki H, Takiyama Y, Honda J, Sakoe K, Namekawa M, Tsuboi Y, Suzuki C, Baba M, Nakano I	Middle cerebellar peduncles and pontine T2 hypointensities in ARSACS	J Neuroimaging		Jan 23 [Epub ahead of print]	2012
Haga R, Miki Y, Funamizu Y, Kon T, Suzuki C, Ueno T, Nishijima H, Arai A, Tomiyama M, Shimazaki H, Takiyama Y, Baba M	Novel compound heterozygous mutations of the SACS gene in autosomal recessive spastic ataxia of Charlevoix-Saguenay	Clin Neurol Neurosurg		Dec 30 [Epub ahead of print]	2011
Namekawa M, Takiyama Y, Honda J, Sakoe K, Naoy T, Shimazaki H, Yamagata T, Momoi M, Nakano I	A novel adult case of juvenile-onset Alexander disease: complete remission of neurological symptoms for over 12 years, despite insidiously progressive cervicomedullary atrophy	Neurol Sci		Dec 24 [Epub ahead of print]	2011
Shindo K, Watanabe H, Ohta E, Nagasaka T, Shiozawa Z, Takiyama Y	Sympathetic sudomotor neural function in amyotrophic lateral sclerosis	Amyotroph Lateral Scler	12(1)	39-44	2011
Nagasaka T, Nagasaka K, Ohta E, Shindo K, Takiyama Y, Shiozawa Z, Miyazawa N, Yamasaki N, Mori N, Onda H, Shinohara T	Cerebral hypermetabolism demonstrated by FDG-PET in familial Creutzfeldt-Jakob disease	Clin Nucl Med	36(8)	725-727	2011
Prust M, Wang J, Morizono H, Messing A, Brenner M, Gordon E, Hartka T, Sokohl A, Schiffmann R, Gordish-Dressman H, Albin R, Amartino H, Brockman K, Dinopoulos A, Dotti MT, Fain D, Fernandez R, Ferreira J, Fleming J, Gill D, Griebel M, Heilstedt H, Kaplan P, Lewis D, Nakagawa M, Pedersen R, Alyssa R, Sawaishi Y, Schneider M, Sherr E, Takiyama Y, Wakabayashi K, Gorospe JR, Vanderver A	GFAP mutations, age at onset and clinical subtypes in Alexander disease	Neurology	77(13)	1287-1294	2011
Ohta E and Takiyama Y	MRI findings in neuroferritinopathy	Neurol Res Int	2012	197438	2012
瀧山嘉久	皮質性小脳萎縮症	難病と在宅ケア	16	47-49	2011
瀧山嘉久, 石浦浩之, 鳴崎晴雄, 辻省次, 西澤正豊	遺伝性痙攣性対麻痺の疫学 -JASPAC-.	神経内科	74	141-145	2011
瀧山嘉久	わが国における遺伝性痙攣性対麻痺の現状	臨床神経			印刷中

武田 篤

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初-最後)	出版年
Kikuchi A, Baba T, Hasegawa T, Sugeno N, Konno M, Takeda A.	Differentiating Parkinson's disease from multiple system atrophy by [¹²³ I] meta-iodobenzylguanidine myocardial scintigraphy and olfactory test.	Parkinsonism Relat Disord	17(9)	698-700	2011
Hasegawa T, Konno M, Baba T,	The AAA-ATPase VPS4 Regulates Extracellular	PLoS ONE	6(12)	e29460	2011

Sugeno N, Kikuchi A, Kobayashi M, Miura E, Tanaka N, Tamai K, Furukawa K, Arai H, Mori F, Wakabayashi K, Aoki M, Itoyama Y, Takeda A.	Secretion and Lysosomal Targeting of α -Synuclein.				
--	--	--	--	--	--

田中 真樹

書籍

著者名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ(最初-最後)
Tanaka M & Kunimatsu J	Thalamic roles in eye movements	SP Liversedge, ID Glichrist, S Everling	Oxford Handbook on Eye Movements	Oxford University Press	UK	2011	235-256

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ(最初-最後)	出版年
Tanaka M & Kunimatsu J	Contribution of the central thalamus to the generation of volitional saccades	Eur J Neurosci	33(11)	2046-2057	2011
國松 淳, 田中真樹	眼球運動制御からみた視床大脳経路の機能解析	BRAIN and NERVE	63	871-877	2011

辻 省次

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ(最初-最後)	出版年
Ishiura H, Fukuda Y, Mitsui J, Nakahara Y, Ahsan B, Takahashi Y, Ichikawa Y, Goto J, Sakai T, Tsuji S	Posterior column ataxia with retinitis pigmentosa in a Japanese family with a novel mutation in FLVCR1	Neurogenet	12(2)	117-121	2011

永井 義隆

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ(最初-最後)	出版年
Popiel HA, Burke JR, Strittmatter WJ, Oishi S, Fujii N, Takeuchi T, Toda T, Wada K, *Nagai Y	The aggregation inhibitor peptide QBP1 as a therapeutic molecule for the polyglutamine neurodegenerative diseases	J Amino Acids	2011	265084	2011
Sun H, Satake W, Zhang C, Nagai Y, Tian Y, Fu S, Yu J, Qian Y, Qian Y, Chu J, Toda T	Genetic and clinical analysis in a Chinese parkinsonism-predominant spinocerebellar ataxia type 2 family	J Hum Genet	56(4)	330-334	2011
Konya C, Hatanaka Y, Fujiwara Y, Uchida K, Nagai Y, Wada K, Kabuta T	Parkinson's disease-associated mutations in α -synuclein and UCH-L1 inhibit the unconventional secretion of UCH-L1	Neurochem Int	59(2)	251-258	2011
永井義隆, 藤掛伸宏	ショウジョウバエモデルから解明されたTDP-43プロテイノパチーの分子病態	日本認知症学会誌	25(2)	129-136	2011
永井義隆, 貫名信行	QBP1を応用した異常伸長ポリグルタミン蛋白質の特異的分解	臨床神経学	51(11)	1108-1110	2011

中島 健二

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Nomura T, Inoue Y, Högl B, Uemura Y, Yasui K, Sasai T, Namba K, Nakashima K	Comparison of the clinical features of rapid eye movement sleep behavior disorder in patients with Parkinson's disease and multiple system atrophy	Psychiatry Clin Neurosci	65(3)	264-271	2011
野村哲志, 井上雄一, 中島健二	二次性REM睡眠行動障害 α -シヌクレイノパチーを中心	睡眠医療	5(2)	161-167	2011

中村 和裕

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Shuvaev AN, Horiuchi H, Seki T, Goenawan H, Irie T, Iizuka A, Sakai N, Hirai H	Mutant PKC γ in spinocerebellar ataxia type 14 disrupts synapse elimination and long-term depression in Purkinje cells in vivo	J Neurosci	31(40)	14324-14334	2011

西澤 正豊

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Kanazawa M, Shimohata T, Endo K, Koike R, Takahashi H, Nishizawa M	A serial MRI study in a patient with progressive supranuclear palsy with cerebellar ataxia	Parkinsonism Relat Disord		Dec 5 [Epub ahead of print]	2011
Kasuga K, Ikeuchi T, Arakawa K, Yajima R, Tokutake T, Nishizawa M	A patient with fragile X-associated tremor/ataxia syndrome presenting with executive cognitive deficits and cerebral white matter lesions	Case Rep Neurol	3(2)	118-123	2011
Miyai I, Ito M, Hattori N, Mihara M, Hatakenaka M, Yagura H, Sobue G, Nishizawa M	Cerebellar Ataxia Rehabilitation Trial in Degenerative Cerebellar Diseases	Neurorehabil Neural Repair		Dec 2 [Epub ahead of print]	2011
Ozawa T, Saji E, Yajima R, Onodera O, Nishizawa M	Reduced bowel sounds in Parkinson's disease and multiple system atrophy patients	Clin Auton Res	21(3)	181-184	2011
Shimohata T, Tomita M, Nakayama H, Aizawa N, Ozawa T, Nishizawa M	Floppy epiglottis as a contraindication of CPAP in patients with multiple system atrophy	Neurology	76(21)	1841-1845	2011
Takado Y, Igarashi H, Terajima K, Shimohata T, Ozawa T, Okamoto K, Nishizawa M, Nakada T	Brainstem metabolites in multiple system atrophy of cerebellar type: 3.0-T magnetic resonance spectroscopy study	Mov Disord	26(7)	1297-1302	2011
Yamazaki H, Nozaki H, Onodera O, Michikawa T, Nishizawa M, Mikoshiba K	Functional characterization of the P1059L mutation in the inositol 1,4,5-trisphosphate receptor type 1 identified in a Japanese SCA15 family	Biochem Biophys Res Commun	410(4)	754-758	2011
Yokoseki A, Ishihara T, Koyama A, Shiga A, Yamada M, Suzuki C, Sekijima Y, Maruta K, Tsuchiya M, Date H, Sato T, Tada M, Ikeuchi T, Tsuji S, Nishizawa M, Onodera O	Genotype-phenotype correlations in early onset ataxia with ocular motor apraxia and hypoalbuminaemia	Brain	134(Pt5)	1387-1399	2011

貫名 信行

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Bauer PO, Hudec R, Ozaki S, Okuno M, Ebisui E, Mikoshiba K & Nukina N	Genetic ablation and chemical inhibition of IP3R1 reduce mutant huntingtin aggregation	Biochem Biophys Res Commun	416(1-2)	13-17	2011
Matsumoto G, Wada K, Okuno M, Kurosawa M & Nukina N	Serine 403 phosphorylation of p62/SQSTM1 regulates selective autophagic clearance of ubiquitinylated proteins	Mol Cell	44(2)	279-289	2011
Doi H, Yoshida K, Yasuda T, Fukuda M, Fukuda Y, Morita H, Ikeda S, Kato R, Tsurusaki Y, Miyake N, Saitsu H, Sakai H, Miyatake S, Shiina M, Nukina N, Koyano S, Tsuji S, Kuroiwa Y & Matsumoto N	Exome Sequencing Reveals a Homozygous SYT14 Mutation in Adult-Onset, Autosomal-Recessive Spinocerebellar Ataxia with Psychomotor Retardation	Am J Hum Genet	89(2)	320-327	2011

水澤 英洋

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Takahashi M, Ishikawa K, Sato N, Obayashi M, Niimi Y, Ishiguro T, Yamada M, Toyoshima Y, Takahashi H, Kato T, Takao M, Murayama M, Mori O, Eishi Y, Mizusawa H	Reduced brain-derived neurotrophic factor (BDNF) mRNA expression and presence of BDNF-immunoreactive granules in the spinocerebellar ataxia type 6 (SCA6) cerebellum.	Neuropathology		in press	2012
Obayashi M, Ishikawa K, Izumi Y, Takahashi M, Niimi Y, Sato N, Onodera O, Kaji R, Nishizawa M, Mizusawa H	Prevalence of inositol 1, 4, 5-triphosphate receptor type 1 gene (ITPR1) deletion, the mutation for spinocerebellar ataxia type 15 (SCA15), in Japan screened by gene dosage	J Hum Genet		in press	2012
Ishikawa K, Dürr A, Klopstock T, Müller S, De Toffol B, Vighetto A, Marelli C, Wichmann HE, Illig T, Niimi Y, Sato N, Amino T, Stevanin G, Brice A, Mizusawa H	Pentanucleotide repeats at the spinocerebellar ataxia type 31 (SCA31) locus in Caucasians	Neurology	77(20)	1853-1855	2011

宮井 一郎

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Miyai I, Sonoda S, Nagai S, Takayama Y, Inoue Y, Kakehi A, Kurihara M, Ishikawa M	Results of new policies for inpatient rehabilitation coverage in Japan	Neurorehabil Neural Repair	25	540-547	2011
Higashimoto Y, Honda N, Yamagata T, Matsuoka T, Maeda K, Satoh R, Nishiyama O, Sano H, Iwanaga T, Miyara T,	Activation of the prefrontal cortex is associated with exertional dyspnea in chronic obstructive pulmonary disease	Respiration	82	492-500	2011

Muraki M, Tomita K, Kume H, Miyai I, Tohda Y, Fukuda K					
Hatakenaka M, Miyai I, Mihara M, Yagura H, Hattori N	Impaired motor learning by a pursuit rotor test reduces functional outcomes during rehabilitation of poststroke ataxia	Neurorehabil Neural Repair	26(3)	293-300	2012
Miyai I, Ito M, Hattori N, Mihara M, Hatakenaka M, Yagura H, Sobue G, Nishizawa M	Cerebellar Ataxia Rehabilitation Trial in Degenerative Cerebellar Diseases	Neurorehabil Neural Repair		Dec 2 [Epub ahead of print]	2011
Miyai I	Challenge of neurorehabilitation for cerebellar degenerative diseases	Cerebellum		Nov 16 [Epub ahead of print]	2011
Mihara M, Miyai I, Hattori N, Hatakenaka M, Yagura H, Kawano T, Kubota K	Cortical control of postural balance in patients with hemiplegic stroke	NeuroReport	23(5)	314-9	2012
Mihara M, Miyai I, Hattori N, Hatakenaka M, Yagura H, Kawano T, Okabayashi M, Danjo N, Ishikawa A, Inoue Y, Kubota K.	Neurofeedback using real-time near-infrared spectroscopy enhances motor imagery-related cortical activation	PLoS One	7(3)	e32234	2012
河野悌司, 畠中めぐみ, 三原雅史, 矢倉一, 服部憲明, 宮井一郎	内科医のための脳卒中Up date脳卒中のリハビリテーション	診断と治療	99(1)	87-92	2011
宮井一郎	運動失調に対するリハビリテーション	神経治療学	28(1)	49-51	2011
宮井一郎	小脳性運動失調のリハビリテーション	神経内科	74(3)	275-280	2011
宮井一郎	リハビリテーション療法の有効性のエビデンス	日本医師会雑誌	140(1)	72	2011
服部憲明, 宮井一郎	機能回復と可塑性	Clinical Neuroscience	29(7)	839-841	2011
河野悌司, 畠中めぐみ, 三原雅史, 服部憲明, 日野太郎, 矢倉一, 宮井一郎	神経リハビリテーション	総合リハビリテーション	39(12)	1151-1156	2011

吉田 邦広

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Doi H, Yoshida K, Yasuda T, Fukuda M, Fukuda Y, Morita H, Ikeda S, Kato R, Tsurusaki Y, Miyake N, Saitsu H, Sakai H, Miyatake S, Shiina M, Nukina N, Koyano S, Tsuji S, Kuroiwa Y & Matsumoto N	Exome Sequencing Reveals a Homozygous SYT14 Mutation in Adult-Onset, Autosomal-Recessive Spinocerebellar Ataxia with Psychomotor Retardation	Am J Hum Genet	89(2)	320-327	2011

若林 孝一

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初・最後)	出版年
Mori F, Tanji K, Odagiri S, Hattori M, Hoshikawa Y, Kono C, Yasui K, Yokoi S, Hasegawa Y, Kamitani T, Yoshida M, Wakabayashi K	Ubiquitin-related proteins in neuronal and glial intranuclear inclusions in intranuclear inclusion body disease	Pathol Int		in press	
Tanji K, Mori F, Kakita A,	Alteration of autophagosomal	Neurobiol Dis	43	690-697	2011

Takahashi H, Wakabayashi K	proteins (LC3, GABARAP and GATE-16) in Lewy body disease				
Mori F, Tanji K, Kon T, Odagiri S, Hattori M, Hoshikawa Y, Kono C, Yasui K, Yokoi S, Hasegawa Y, Yoshida M, Wakabayashi K	FUS immunoreactivity of neuronal and glial intranuclear inclusions in intranuclear inclusion body disease	Neuropathol Appl Neurobiol		in press	
Miki Y, Mori F, Tanji K, Kakita A, Takahashi H, Wakabayashi K	Accumulation of histone deacetylase 6, an aggresome-related protein, is specific to Lewy bodies and glial cytoplasmic inclusions	Neuropathology	31	561-568	2011

阿部 康二

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初-最後)	出版年
Kobayashi H, Abe K, Matsuura T, Ikeda Y, Hitomi T, Akechi Y, Habu T, Liu W, Okuda H, Koizumi A	Expansion of intronic GGCCTG hexanucleotide repeat in NOP56 causes SCA36, a type of spinocerebellar ataxia accompanied by motor neuron involvement	Am J Hum Genet	89(1)	121-130	2011
Ikeda Y, Nagai M, Kurata T, Yamashita T, Ohta Y, Nagotani S, Deguchi K, Takehisa Y, Shiro Y, Matsuura T, Abe K	Comparisons of acoustic function in SCA31 and other forms of ataxias	Neurol Res	33(4)	427-432	2011
亀高さつき, 池田佳生, 阿部康二	岡山大学神経内科における遺伝子検査1,000件の臨床疫学的解析	臨床神経学	51	471-477	2011
池田佳生, 阿部康二	神経内科領域の難治性疾患診療	岡山医学会雑誌	123	227-230	2011

嶋崎 晴雄

書籍

著者名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ (最初-最後)
Shimazaki H	Clinical aspects of anti-NMDA receptor encephalitis	Daisuke Hayasaka	Pathogenesis of encephalitis	InTech	Rijeka, Croatia	2011	255-266
Shimazaki H, Takiyama Y	Autosomal recessive spastic ataxia of Charlevoix-Saguenay (ARSACS): clinical, radiological and epidemiological aspects	Eldson Storey	Spinocerebellar ataxia	InTech-Open Access Publisher	Croatia	in press	

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初-最後)	出版年
Shimazaki H, Takiyama Y, Honda J, Sakoe K, Namekawa M, Tsuboi Y, Suzuki C, Baba M, Nakano I	Middle cerebellar peduncles and pontine T2 hypointensities in ARSACS	J Neuroimaging		Jan 23 [Epub ahead of print]	2012
Namekawa M, Takiyama Y, Honda J, Sakoe K, Naoi T, Shimazaki H, Yamagata T, Momoi M, Nakano I	A novel adult case of juvenile-onset Alexander disease: complete remission of neurological symptoms for over 12 years, despite insidiously progressive cervicomedullary atrophy	Neurol Sci		Dec 24 [Epub ahead of print]	2011
Haga R, Miki Y, Funamizu Y,	Novel compound heterozygous mutations of	Clin Neurol		Dec 30	2011

Kon T, Suzuki C, Ueno T, Nishijima H, Arai A, Tomiyama M, <u>Shimazaki H</u> , Takiyama Y, Baba M	the SACS gene in autosomal recessive spastic ataxia of Charlevoix-Saguenay	Neurosurg		[Epub ahead of print]	
嶋崎晴雄	常染色体劣性遺伝性痙性対麻痺の臨床—SPG11, ARSACSを中心にして—	神経内科	74(2)	127-134	2011
瀧山嘉久、石浦浩之、嶋崎晴雄、辻省次、西澤正豊	遺伝性痙性対麻痺の疫学 -JASPAC-	神経内科	74	141-145	2011
中原圭一, 嶋崎晴雄, 澤田幹雄, 中野今治	当院におけるPosterior reversible encephalopathy syndrome (PRES) 12症例の検討	日本神経救急学会雑誌	23(2)	24-28	2011
松本卓也, 松本健二, 坂元伸吾, 嶋崎晴雄, 小林聰幸, 加藤敏	一級症状 (K. Schneider) を呈した抗NMDA受容体脳炎の一例	精神科治療学	26(8)	1035-1043	2011

金井 数明

雑誌

著者名	論文題名	発表誌名	巻号	ページ (最初-最後)	出版年
Makino T, Ito S, Kuwabara S	Involvement of pontine transverse and longitudinal fibers in multiple system atrophy: a tractography-based study	J Neurol Sci	303(1-2)	61-66	2011

VI. 班員名簿

運動失調症の病態解明と治療法開発に関する研究班 班員名簿

区分	氏名	所属等	職名
研究代表者	佐々木秀直	北海道大学大学院医学研究科神経内科学分野	教授
研究分担者	宇川義一	福島県立医科大学医学部神経内科学講座	教授
	岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所神経病理学分野	教授
	小野寺 理	新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター	准教授
	吉良潤一	九州大学大学院医学研究院神経内科	教授
	祖父江 元	名古屋大学大学院医学系研究科神経内科	教授
	高嶋 博	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経内科・老年病学	教授
	瀧山嘉久	山梨大学医学部神経内科学	教授
	武田 篤	東北大学大学院医学系研究科神経内科学分野	准教授
	田中真樹	北海道大学大学院医学研究科認知行動学分野	教授
	辻 省次	東京大学医学部附属病院神経内科	教授
	永井義隆	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第四部	室長
	中島健二	鳥取大学医学部医学科脳神経科学講座脳神経内科学分野	教授
	中村和裕	群馬大学大学院医学系研究科脳神経病態制御学講座 神経生理学	准教授
	西澤正豊	新潟大学脳研究所臨床神経科学部門神経内科学分野	教授
	貫名信行	独立行政法人理化学研究所構造神経病理研究チーム	チームリーダー
	水澤英洋	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学 (神経内科学) 分野	教授
	宮井一郎	社会医療法人大道会森之宮病院神経リハビリテーション 研究部	大道会副理事長兼 森之宮病院院長代理兼 神経リハビリテーション 研究部長
	吉田邦広	信州大学医学部神経難病学講座	特任教授
	若林孝一	弘前大学大学院医学研究科脳神経病理学講座	教授
研究協力者	阿部康二	岡山大学大学院医歯学総合研究科脳神経内科学	教授
	内海 潤	京都大学大学院薬学研究科最先端創薬研究センター	特定教授
	嶋崎晴雄	自治医科大学神経内科	講師
	金井数明	千葉大学医学部神経内科	助教
	中馬孝容	滋賀県立成人病センターリハビリテーションセンター 医療部リハビリテーション科	部長
	加藤丈夫	山形大学医学部第3内科	教授
	湯浅龍彦	鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病医療センター難病脳内科	センター長
班友	和田圭司	国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究 第四部	部長
事務局	矢部一郎	〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目 北海道大学大学院医学研究科神経内科学 TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356	准教授
経理事務担当者	吉川幸児	〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目 北海道大学医学系事務部会計課外部資金担当 TEL 011-706-5516 FAX 011-706-7873	